

(株)タイカ、(株)モンベル、(株)ピラミッドジャパンより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2022/09/25

移転作業進行中 ACN は新しい一歩を踏み出しました

Siem Reap Climbing School



長男独立

Angkor Boulder Gym



ソフト
オープン



次男独立

日本の NPO 法人アンコールクライマーズネット

ACN この本家にもう家屋 (Angkor Climbing Wall) はないが、実家に
若い 3 人のスタッフ (バラン、メサ、ラチャナ) が残っている

2022 年 7 月のクライミングウォール土地借用期限を前に 12 年間親しんだシェムリアップ市内クルス村の土地を離れ、Angkor Climbing wall という本家から、長男のスムロンと次男のキムスロイがそれぞれ独立していく形で、ウォールを解体し、使える材料は二か所に分けて運んだところまで、30 号でご紹介しました。表紙写真のように、市内西部のクラバイリエル村に Siem Reap Climbing School が建設中、また、東部のチリウ村には Angkor Boulder Gym が、週末だけの臨時営業のような形ですが、5 月から開いています。兄2人が独立していき、本家には若い弟と妹が残った形です。引き続きこの 3 人には ACN 設立の目的

- 1) スポーツクライミングを通じて、カンボジア青少年の健全な成長をはかる。
- 2) カンボジア・シェムリアップ州において、カンボジア人がカンボジア人クライマーを安全に継続的に育てていけるようになるまで、現地活動を支援する。

これらのためにまだ活動してもらうことになります。また、独立したといっても、資金援助の必要な 2 か所の移転先には 2 か所合計で、2022 年 7 月までの現地活動費月額の半額を 2024 年 7 月まで支援することになりました。

「あれ、目的の文がちょっと変わった？」とお気づきの方、その通りです。「Angkor Climbers Net Cambodia 支援」の文字を削除しました。ウォールが分散移転しましたので、カンボジアで現地店舗として看板を届けたり、税金を納めたりする必要がなくなりましたし、ACN がカンボジア NGO として独自に規模を整える必要もありませんので、今後は現地のクライマーを育てるスポンサーの一員として活動することになりました。(P3 総会で承認)日本の皆様には、引き続きウェブサイト <https://www.angkorclimbers.net/> フェイスブック <https://www.facebook.com/angkorclimbersnetcambodia/> を通じての応援をよろしくお願いいたします。



balan 作のホールドがコンペの賞品に

8 月 21 日、シェムリアップ市内の Kanell restaurant (このレストランは、夜の部ではアプサラダンスのショーをしています、昼は、ペタンク、卓球、ビリヤード、チェスやクライミングも楽しめる場所となっています。)で、主として子供中心のコンペが行なわれました。ACN の生徒たちも多数参加、当日は Angkor Boulder Gym の日曜練習は開店休業状態でした。

<https://kanell-siemreap.com/>

<https://www.facebook.com/kanellinnershows/>

このコンペで、わが ACN スタッフの balan はルートセッターを務めるとともに、彼のホールド会社 CAMBO ROCK は優勝賞品としてホールドを提供しました。もちろん、入賞者の多くは ACN の生徒たちでした。

<https://www.facebook.com/cambodiaboulderingholds>

10 月 9 日 プノンペン Sva Prey (森の猿) コンペに選手派遣

このコロナの 2020 年~2021 年 プノンペンのプノクライム <https://www.phnomclimb.com/> はロックダウンで大変でした。そんな中でも ACN 卒業生の雇用はずっと維持していただきました。また、従業員の皆も、強制休業期間中であっても毎日のようにフェイスブックを更新して首都のクライマーの期待を集める努力を続けていました。 <https://www.facebook.com/PhnomClimb/>

待望のボルダリングコンペが 2 年半ぶりに行なわれます。ACN は 7 月~9 月の練習に休まず参加した 14 人を選び、ラチャナの引率で参加します。シェムリアップではウォール解体で、ほぼ半年の間練習ができませんでしたが、それはロックダウンの長かったプノンペンの皆も同じ。ぜひがんばってみたいものです。



書式第12号（法第28条関係）

令和3年度 事業報告書

令和3年7月1日から 令和4年6月30日まで

特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット

1 事業の成果

以下の事業を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
1. スポーツクライミングの技術指導	・シェムリアプ州内近隣の高校生を主対象にしたクライミング講習会を毎週末、土曜日に実施	2021.7～2022.1月 2022.6月	カンボジア／アンコール・クライミング・ウォール、アンコール・ボルダージム	日本人0人、カンボジア人10人、その他10人	シェムリアプ州内中高校生100人	3
2. 交流会、講習会、競技会の開催・運営の指導	・アンコールカップ競技会実施指導等	2021.12～2022.1月	カンボジア／アンコール・クライミング・ウォール他	日本人2人、カンボジア人7人、外国人12人	カンボジア人90人、外国人5人	19
3. 関連地域住民との積極的な交流	・人工壁維持運営等現地活動の支援、人工壁分散移転	通年	カンボジア／アンコール・クライミング・ウォール、アンコール・ボルダージム他	日本人2人、カンボジア人8人	カンボジア人80人	1,000
4. 前号に掲げた事業を行う団体、個人への支援	・カンボジアクライミング連盟への活動資金援助	通年	カンボジア／オリンピックスタジアム他	カンボジア人5人、運営組織	カンボジア側	59
5. その他、目的を遂行する為	・国内での現地活動紹介他	通年	日本国内	日本人10人	主として日本人60人	125
						計 1,206

(2) その他の事業

当該事業年度は実施しなかった。

8月20日調布市文化会館たづくり801会議室にて開催

新理事として栗原あすかが加わり、理事9名、監事2名は留任、都庁と法務局への届け出もすみました。

8月20日 調布市文化会館たづくり801会議室で

グローバルフェスタ 今年もリアル会場出展

グローバルフェスタ JAPAN 2022

ここからつながる世界。ともにここから創る未来。
みんなが参加する国際協力

リアル&オンラインで
開催決定!

2022.10.1(土) - 10.2(日)

10/1 SAT

メインステージプログラム

MAIN STAGE PROGRAM

10/2 SUN

10:15~10:45

オープニングセレモニー

人気お笑い芸人のすまひるがりずが登場！ ODAマンとクイズを行い、オープニングを盛り上げます。



11:15~12:15

スポーツで世界を変える

誰しも心動かされた経験のある「スポーツ」。そんなスポーツで世界を変えようとしている人たちがいます。果たしてスポーツには社会や世界を変える可能性があるのか？ スポーツで未来を切り開こうと奮闘する登場者が集結！ 熱くトークを繰り広げます！



12:45~13:15

相模原と学校教育

元横浜日高富士をゲストに迎え、横綱引退後に故郷モンゴルに設立した学校の様子をご覧いただきながら、子どもたちへの教育や健康管理についてお話を伺います。



14:00~15:30

中小企業の海外展開とODA 「FROGMAN、ODAの「クリエーター」と語ろう」

中小企業によるODAを活用した海外展開がテーマ。「ODAマン」の生みの親・FROGMANを迎え、途上国での開発課題への取組とビジネス展開への挑戦について知見を共有し、ODAへの参加を後押しします。



15:45~16:50

第1部 継続可能なアフリカ平和支援 PEACEisプロジェクト

約10年以上アフリカの地を撮影し続けている戦場フォトグラファーの青木弘さんが「世界のいま」を語ります。



第2部 外務省フォトコンテスト授賞式

オンライン配信のみのサブステージもあります！

13:00~14:00

サッカーを通じて途上国を支える。フロンタールの挑戦

15:45~16:45

地球案内人が見た途上国のあんなコト、こんなコト
JICA地球ひろばの地球案内人（JICA海外協力隊経験者）が、ケニア、エチオピア、モンゴルで体験してきた現地での忘れられない出来事や、途上国で感じた魅力、豊かさなどをトークセッション形式でご紹介します。



10:30~12:00

ここから私たちが作る未来 ～“今”を取り巻く様々な課題と“これから”の 国際協力についてみんなで考えよう～

開発途上国の開発課題や地球規模課題、近年のウクライナ問題を含む様々な問題が深刻化する中、より多くの若者たちが国際協力に関心をもち、未来の在り方に対してどの様に関与出来るか、各方面のプロフェッショナルがパネルディスカッションを行います。

12:30~14:00

「世界の人々の命、暮らし、尊厳を守るには」 ～知って・伝える力がひとを動かす～

激変する世界でどう「世界の人々の命、暮らし、尊厳を守る」のか。「知って・伝える力がひとを動かす」をコンセプトに、メッセージを募集。ステージでは、コンテストの最優秀候補者とともに、この大きなテーマについて考えます。



14:30~15:30

南アジア ふしぎ発見！

魅力あふれる南アジアを、面白いトリビア交じりのクイズで紹介！クイズをとおして、ダイナミックに躍動する南アジアの国々、その課題と挑戦をのぞいてみませんか？当日、ステージ上で出演者とのクイズ対決に挑戦してくれる方も大歓迎！



15:45~16:45

Efforts for a free and open ocean ～自由で開かれた海洋のための取り組み～

外務省は自由で開かれたインド太平洋を念頭に、海上保安庁による海上交通の安全・保安にかかる協力、港湾施設等質の高いインフラを題材として制作している動画の発表を行います。



オンラインでも参加可能！

体験コーナー 13:30~14:30

『沖縄本土復帰50年・沖縄から考える世界平和。～沖縄の文化芸術を学び・体験しよう～』



体験コーナー 16:15~16:45

さかなクンと学ぶ、海とお魚の世界



他にも様々な国際協力の活動がご覧いただけます。詳しくはホームページをご覧ください。



大使館&出展ブース

約100ブースが出展予定。国際協力の活動報告の他、物販コーナーもあります。



体験ワークショップ

お子様から学生、大人まで幅広い方に体験いただけるワークショップです。



外務省フォトコンテスト作品展示

皆さまから募集した「心をつなぐ」をテーマにした写真を展示します。

参加方法 リアルの場合

感染拡大防止対策に取り組んでいます。

会場：東京国際フォーラム
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

JR路線

●有楽町線より徒歩1分
●丸の内線より徒歩5分
●丸の内線より徒歩5分
●丸の内線より徒歩5分

地下鉄

●有楽町線：有楽町駅
B1F地下コンコースにて連絡
●千代田線：二重橋前駅より徒歩5分・日比谷駅より徒歩7分
●丸の内線：新大塚駅より徒歩5分
●丸の内線：新大塚駅より徒歩7分・有楽町線より徒歩7分
●三田線：日比谷駅より徒歩5分

参加方法 オンラインの場合

①サイトへアクセス

②見たいプログラムをクリック



詳しくは
ホームページを
ご覧ください。

https://sfjapan2022.jp



※イベントにご参加される方は事前にZoomアプリをダウンロードしてください。ステージの視聴にはZoomアプリのダウンロードが必要です。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



3年ぶりのブース出展です。残念ながら今年も体験クライミングはできませんが、ウォール移転の写真、新しいウォールの地図、クライミング動画などを展示し、アンコールカップ Tシャツ クロマー がんばるぞうさん等の販売もいたします。

10月1日、2日は、JR有楽町駅徒歩1分
東京国際フォーラムホールE2/ロビーギャラリー
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-5-1
グローバルフェスタへ 10:00～17:00 です。

<https://gfjapan2022.jp/>

<https://www.facebook.com/globalfestajp>



会場図の一部です。ACNは、出口の近く、**ここ**
前後左右はみな特定非営利活動法人のエリアです

入口

関西の皆様はこちらへ

カンボジアハンドメイド展 2022 & カンボジア写真展

ACNが現地で大変お世話になっているクロマーユーユーが出演しています。

2022/9/18(日)～10/1(土) シサムコウボウ京都裏寺通り店

- Share the Wind @share_the_wind • Ashi @ashi_cambodia
- CHAJAPAN @chajapann • HariHara @harihara.cambodia
- santapiup @santapiup • SuiJoh @suijoh
- Andkow&Co. @andkow_co
- Krama Yuyu @krama_yuyu_weaving
- 国境食堂 haru @poipet.haruru



From ACN's Desk : 事務局から

2022年からは、もう日本人をあてにしないで自立して、と言い続けてきましたが、コロナでそうも言っていられなくなりました。ACNは「Angkor wall とともに 2022 年で撤退」はせず、活動を継続することにしました。このコロナで観光都市シェムリアップの人々が受けた打撃は計り知れません。ACN の生徒でも、一家で田舎に帰ってしまった家もあります。郷里のある人はまだ良いのかもしれませんが、高校を中退してプノンペンへ働きに行った生徒もいます。

・NPO法人としての会員は現在 53名、会員として継続的な支援をお願いします

■特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット（日本事務局）

ACNへ入会をご希望の方は、随時下記宛て、郵送、電話、メール、のいずれかでお知らせください。一般個人会員の年会費は¥5,000です。事業年度(7/1～翌年6/30 まで)に対応して納入をお願いしています。みなさまの支えがカンボジアの青少年の、健全な成長を継続する確実な助けになります。移転してそれぞれ独立と言えば聞こえは良いですが、まだ建設中、資材値上がりのなかで苦戦中です。しっかり軌道に乗るまで今しばらく、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506 tel. 042-498-2488 Email: info@angkorclimbers.net

・寄付・寄贈 2008年にNGOとしてスタートしてから 2022/8/31 までの、寄付金累積総額は、¥11,349,002 + US\$22,865 となり

ました。また、里親基金累計総額は、¥6,020,000+US\$1,250 です。大変ありがとうございました。

2022年2月～2022年8月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は下記の通りです。なお、本お知らせは、ニューズレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

- 一寄付 浅田信一郎様、高島伸哉様、佐藤未帆様、林武子様、有泉重正様、高橋千鶴子様、吉富明様、浅井和英様、池口真弘様、清水不二様、才原明男様、堀田圭子様、福神和子様、清水智子様、クロマーユー様、榎田猛彦様、森妙子様
- 一寄贈 ※寄贈及び奉仕活動をもってご支援いただいた方も含みます。アナコットカンボジア様、高木智子様、Lisa Twaronite 様、福神和子様、伊藤洋美様、このほか、Tシャツ、がんばるぞうさんなどを通じてご協力いただいた方々のお名前はその都度記録していませんが、ご協力どうもありがとうございました。
- 一里親 堀田圭子様、才原明男様、清水不二様、榎澤健治様 (順不同)

★★★ 寄付及び会費専用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010
番号 75286831
口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱UFJ銀行

支店名：調布支店
預金種目：普通預金 口座番号：0081781
口座名：アンコールクライマーズネット

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット (日本)
〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506
tel. 042-498-2488

■アンコールクライマーズネット (カンボジア)
Angkor Climbers Net (ACN)
tel. +855-(0)70-411-722 Bale Huy バラン 英語・クメール語

■Web サイト <http://www.angkorclimbers.net/>

■ email info@angkorclimbers.net

新しい Facebook は <https://www.facebook.com/angkorclimbersnetcambodia>

移転地連絡先 Siem Reap Climbing School +855-(0)-92-336 924 Seam Rorn スムロン 英語・クメール語
Angkor Boulder Gym <https://www.facebook.com/VireakbuthSR>
+855-(0)-12-793 221 Kimsroy キムスロイ 英語・クメール語

カンボジアは今 お盆です

Editor's note

信仰厚い人々は、早朝からお寺をまわります。7日間または 14 日間、毎日違うお寺にお参りしていきます。お参りはそこそこに、ご馳走の方が嬉しい子供も多いのは、お彼岸の日本と同じですね。ちまきもたくさん作ります。生徒たちのフェイスブックから。



アンコールクライマーズネットニューズレター

2022年9月号 No. 31

Contents

- 01 新しい ACN
- 02 Sva Prey Comp
- 03 通常総会
- グローバルフェスタ

特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット

発行人 代表理事 浅井和英

編集人 事務局 伊藤明子

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506

tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

www.angkorclimbers.net